

鋼構造シンポジウム2011 第19回鋼構造年次論文(報告)発表会 プログラム (2日目:11月18日)

		第2会場(902)			第3会場(904)			第4会場(905)						
		セッションNo. 内容	発表 No.	論文題目/発表者	司会者	セッションNo. 内容	発表 No.	論文題目/発表者	司会者	セッションNo. 内容	発表 No.	論文題目/発表者	司会者	
受付開始 9:00~														
9:45														
10:00	S-8 振動・制振 [土木]	55	部材のノックオフを考慮した小型振動模型の振動台実験(松村 政秀/大阪府立大学大学院)	何 興文 (北海道大学)	78	結合力要素を用いた鋼-ECC合成材の疲労き裂進展解析(角間 恒/北海道大学大学院)	S-11 補修・補強 [土木]	79	曲げ応力の低減と施工に着目した疲労亀裂補修方法の検討(倉田 真麻/石川工業高等専門学校)	山上 哲示 (阪神高速技術株)	S-14 部材2 (柱・ブレース) [建築]	100	引張軸力下で斜め入力を受ける高降伏点冷間プレス成形角形鋼管の構造性能(鈴木 悠介/新日本製鐵株)	島田 侑子 (千葉大学)
10:15		56	折れ曲がり片持ちせん断構造体の振動特性に関する実験的研究(エルカス セルフ カヤ/熊本大学)		80	グライnderの連いが亀裂除去の施工性に与える影響について(住吉 信哉/石川工業高等専門学校)		101	高強度鋼を用いた組み立て柱の曲げ性能検証実験(林 旭川/京都大学大学院)					
10:30		57	機能性流体を用いたセミアクティブ免震支承の開発的研究(森若 浩司/大阪府立大学工業高等専門学校)		81	動的繰返し荷重下におけるCFRP補強桁の接着特性に関する実験的研究(山田 隆/榎平設計)		102	載荷方向を変化させた角形鋼管柱の履歴挙動(石田 孝徳/東京工業大学)					
10:45		58	種々の鋼材を用いる鋼製ペローズの静的繰返し軸方向変位載荷実験(平原 慎也/大阪府立大学大学院)		82	高性能力を用いた疲労き裂の簡易応急補修法に関する基礎的研究(六次 聖哉/京都大学大学院)		103	二軸曲げを受ける矩形中空断面柱の弾性局部座屈耐力と幅厚比制限(佐藤 公亮/東京工業大学大学院)					
11:00		59	鋼橋の接合部に用いる低降伏点鋼S字型ダンパーの検討(田中 賢太郎/摂南大学)		83	鋼板接着補強された腐食プレートガーダーの曲げ耐力実験(福田 光夫/広島大学大学院)		104	中心圧縮荷重を受ける角形鋼管柱の高温弾塑性クリープ挙動(黒岩 裕樹/熊本大学)					
11:15		60	制震ダンパーによる既設鋼製ラーメン橋脚の地震時損傷低減効果(木下 幸治/岐阜大学)		84	鋼板に補強した炭素繊維シートの剥離特性に関する実験的研究(森本 真史/新日本製鐵株)		105	繰返し荷重時におけるH形鋼筋造材の実験的研究(赤羽 正寛/日本大学大学院)					
11:30		61	曲線2主桁橋の交通振動解析およびねじり剛性向上策効果の検討(林川 俊郎/北海道大学大学院)		85	腐食鋼部材とセラミックモルタル材料の引張付着強度に関する研究(加藤 祐介/九州大学大学院)		106	球状黒鉛鋳鉄の円管部材の曲げせん断試験(古賀 瞬斗/長崎大学大学院)					
11:45		62	複合型免震支承の橋梁構造物への適用に関する研究(姫野 岳彦/岡山大学大学院)					107	損傷評価性能を有する鋼板耐震壁のエネルギー消費性能の向上(岡村 祐拓/京都大学大学院)					
12:00	休憩													
12:15	休憩													
12:30	休憩													
12:45	休憩													
13:00	S-9 制振 [建築]	63	履歴型ダンパー付骨組におけるダンパーの簡易設計法に関する研究(大角 建/九州大学大学院)	澤田 樹一郎 (鹿児島大学)	S-12 維持管理 1 [土木]	86	衝撃振動試験および動たわみ測定による実橋RC床版の劣化度評価(宮村 正樹/榊山コンサルト)	小林 裕介 (鉄道総研)	S-15 骨組1 [建築]	108	角形鋼管柱を用いた方柱ダンパー接合構造の試設計と地震応答解析(河合 大/大阪工業大学大学院)	島津 勝 (長崎大学)		
13:15		64	履歴型ダンパー付骨組の地震時におけるエネルギー入力特性(石鍋 雄一郎/日本大学)		87	FSMによる高力ボルト接合継手の健全度モニタリング(廣畑 幹人/名古屋大学大学院)	109		節点移動のある柱におけるPΔモーメント(小林 雅典/北九州市立大学大学院)					
13:30		65	芯材局部座屈を考慮した座屈拘束プレースの低サイクル疲労性能評価(松井 良太/東京工業大学大学院)		88	加速ハザードモデルを用いた鋼部材の劣化予測(保田 敬一/株式会社ニージュック)	110		降伏点の変動を考慮した不均等スパン骨組の耐震性能に関する考察(小林 康子/九州大学大学院)					
13:45		66	座屈拘束プレースの座屈モード数および圧縮引張耐力比の評価(若山 拓也/北海道大学大学院)		89	空間点過程による塗装鋼部材の点さび発生状況評価に関する研究(宇都宮 一浩/九州大学大学院)	111		露出柱脚付きノンコンプレッションプレース架橋の復元力特性(中村 友一/広島工業大学大学院)					
14:00		67	溝形鋼で補剛した鋼製プレースダンパーにおける座屈拘束効果に関する研究(石井 大吾/清水建設株)		90	腐食損傷を有する鋼床版デッキプレートの応力集中に関する解析的検討(細見 直史/株式会社京橋)	112		樑デバイス付接合部を有した架橋の保有水平耐力と最大層間変形角(田邊 真二郎/広島工業大学大学院)					
14:15		68	柱脚浮き上がり許容した1軸偏心鉄骨造架橋の地震応答(成尾 涉/北海道大学大学院)		91	慣性計測による鉄道橋のモニタリング(堀合 聡/株式会社ビーエムシー)	113		柱消失後の鉄骨骨組の鉛直終局挙動と耐荷機構に関する実験的研究(福山 達也/東京理科大学)					
14:30		69	エネルギー吸収部材を有する制御型ロッキング架橋の地震応答評価(大友 啓徳/北海道大学大学院)		92	既設鋼橋の3次元有限要素解析と振動計測(牧野 高平/長崎大学大学院)	114		半剛接合部を有する一層鉄骨骨組の必要ベースシア係数(藤井 啓樹/東京理科大学)					
14:45		70	地震応答低減機能を有する床構造を適用した1層鋼構造骨組の地震応答に及ぼす床組の面内変形の影響(矢野 康/大阪工業大学大学院)						115	弾塑性応答後の被災低層骨組構造物の余震に対する弾性限界耐力(高橋 一樹/東京理科大学)				
15:00	休憩													
15:15	休憩													
15:30	S-10 合成・複合構造 [建築]	71	CFT柱に取付く梁ウェブ接合部の曲げ耐力に関する実験的研究(城戸 将江/北九州市立大学)	石鍋 雄一郎 (日本大学)	S-13 維持管理 2 [土木]	93	振動解析とGA最適化手法を用いた橋梁損傷同定法の適用可能性検討(何 興文/北海道大学大学院)	中村 聖三 (長崎大学)	S-16 骨組2 [建築]	116	偏心を有する鋼構造重層ラーメン骨組の単純化力学モデルの検討(江原 大輔/熊本大学大学院)	松井 良太 (東京工業大学)		
15:45		72	単純圧縮力を受けるCFT短柱の強度と変形性能に関する研究(竹内 真平/新潟大学大学院)		94	既設単純合成鉄桁橋の健全性に関する数値解析検討(石井 めぐみ/室蘭工業大学大学院)	117		偏心を有する鋼構造骨組の地震応答性状に及ぼす柱梁耐力比の影響(藤井 快典/熊本大学大学院)					
16:00		73	シヤコネクタのずれ剛性が合成梁の弾性剛性に与える影響(伊 哲良/横浜国立大学大学院)		95	クリップゲージによるき裂進展速度の簡易推定方法(窪田 利幸/株式会社ビーエムシー)	118		従来型筋造の単純化復元力モデルに関する研究(宮下 いずみ/熊本大学大学院)					
16:15		74	鉄骨骨組の最小コスト設計と最小重量設計の比較研究(澤田 樹一郎/鹿児島大学)		96	淀川大橋の腐食状況調査(夏秋 義広/株式会社橋梁建設協会)	119		座屈劣化型中低層プレース架橋の層間変形集中に及ぼす柱材の影響(茶谷 友輔/長崎大学大学院)					
16:30		75	鋼構造物の断面最適化における部材グループング法(藤井 英二/株式会社工務店)		97	淀川大橋補修溶接部の非破壊検査と鋼材の成分分析(河野 謙/日本非破壊検査工業会)	120		積載物の滑動を考慮した多層構造物の地震応答評価(松野 勇輝/東京工業大学大学院)					
16:40		76	鉄骨建築構造設計教育を目的としたデッキ床組の設計支援システム(澤原 朝美/熊本大学大学院)		98	淀川大橋の動的載荷試験および応力顕測定(Luiza H. Ichinose/日本非破壊検査工業会)	121		部材の耐力劣化を考慮した超高層建築物の終局耐震性能(小俣 慶太/九州大学大学院)					
17:00		77	炭素繊維プレートと鋼との複合材の高温クリープ限界せん断応力(服部 明生/広島工業大学大学院)		99	デジタル画像相関法による動的変位計測に関する基礎的研究(坂井 達志/長崎大学大学院)	122		実大4層鉄骨造建築物の地震応答解析(島津 勝/長崎大学大学院)					
17:15		休憩												
17:30	休憩													

平成23年11月18日